

令和7年度 アンケート結果及び自己評価結果
(ドットジュニア 船橋浜町教室 (放児童発達支援・放課後等デイサービス))

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、定期的に自己評価を実施しています。自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見ご要望をもとに、業務サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R7/11/17～R7/12/5>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R7/11/17～R7/11/25>
環境 体制 整備	訓練室等の適切なスペースの確保	受け入れ人数に対して教室のスペースは狭いように感じます。座って活動する分には気になりませんが運動活動がある時は狭いように感じます。実際に運動活動をしているところを観ていないのであくまでも想像です。 先生たちも安全に配慮してくれており、安心して行かせることができている" 職員の入れ替わりが多く、安定した支援が行われているか不安を感じます。また、職員異動の際は保護者に知らせて欲しいです。それから、送迎車は運転手と添乗員の2人体制を希望します。職員1人が運転と保護者への電話連絡、子どもの保護者への引き渡しを行っていることに安全面での不安を感じます。"	【取り組み状況】 ・安全管理の徹底: 日頃より職員による安全配慮を評価いただき、ありがとうございます。お子様が安心して過ごせる環境づくりを最優先しております。 ・送迎業務: 現在、限られた人員の中で安全運転と円滑な受け渡しに努めております。 【改善の方針】 ・スペースの有効活用: 運動活動時には家具の配置を見直す、または少人数グループに分けるなどの工夫を行い、ダイナミックな活動でも安全な広さを確保できるよう運用を改善します。 ・職員体制の安定と共有: 離職率の低下を目指し、職場環境の改善と研修の充実に努めます。また、職員の異動退職については、書面や連絡アプリを通じて速やかに保護者様へお知らせする仕組みを構築します。 ・送迎時の安全強化: 運転手の負担軽減と安全確保のため、添乗員配置の検討を進めます。即時の2人体制が困難な場合でも、「運転中の電話対応禁止」「停車後の連絡引き渡し」の徹底を再周知し、安全を第一に運用します。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務 改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル	アプリでの活動報告や送迎時の受け渡し時など、子供がどんなことをしていたか共有いただけるので心配はないです。	【取り組み状況】 アプリ「HUG」での活動報告や送迎時の対話を通じ、お子様の日々の様子をきめ細かく共有することに注力しています。また、より良い療育を提供できるよう、定期的な業務の見直し (PDCA) や職員研修を行い、支援の質の向上に努めています。 【改善の方針】 「様子がわかって安心」という保護者の皆様からのお声を励みに、今後も情報の「見える化」と丁寧な連携を継続します。あわせて、職員一人ひとりのスキル向上に力を入れ、お子様がさらに安心して楽しく過ごせる環境づくりを追求してまいります。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		

適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	<p>子供の気になる行動など気がつくとき報告してくださったり、その為にどう支援するか相談して下さってとても助かります。</p> <p>得意な分野も苦手な分野も満遍なく活動してもらっている認識です</p> <p>子ども合った支援を提供していただいています。ありがとうございます。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別最適化された支援: お子様の特性に合わせたアセスメント(評価)を行い、得意不得意のバランスを考えたプログラムを提供できている点は、今後も継続強化してまいります。 タイムリーな報告: 日々の変化や気になる行動を共有し、保護者様と共に方針を決定する体制を維持します。 <p>【改善の方針】</p> <p>より質の高い支援をおこなうため、保護者面談を積極的に実施して参ります。</p>
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		
関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	<p>保護者との情報の連携やコミュニケーションをとりやすい環境にしてい下さりスタッフの方の気配りはとてもありがたいです。気軽に話せる雰囲気を作って下さっていて助かります。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの活性化: hugや送迎時の対話を通じ、開かれた関係性を築けていることを嬉しく思います。スタッフの気配りについても、引き続き質の向上を図ります。 <p>【改善の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報公開の透明化: 支援計画のタイミング不一致を解消するため、面談スケジュールの管理を強化します。 専門機関との連携強化: 個別支援計画に基づき、必要に応じて学校や他事業所との情報共有(サービス担当者会議等)をより積極的に行い、一貫した支援を提供します。
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレントトレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明(支援の内容、利用者負担額等)	<p>個別支援計画の保護者面談と説明が毎回支援開始後なと、今年始まった専門的支援が保護者への説明以前から開始されていたことに疑問に感じます。今後は正しい順序で行っていただきたいです。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <p>計画作成プロセスを見直し、面談機会を増やしている。</p> <p>【改善の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画作成プロセスの厳守: ご指摘いただいた「支援開始後の計画説明」を重く受け止めております。「アセスメント→計画作成→保護者様への説明同意→支援開始」という正しいプロセスを徹底し、特に専門的支援の開始時には、必ず事前に意図と内容を説明するフローへ修正します。
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		

非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	個人的に分からないだけで非常時対応できていると思っています。以前避難訓練でピピットへ避難した記憶がありますが最近そのような話を聞いてなかったのでわからないにチェックしました。直接ケガ、体調不良の出来事はないのでわからないにチェックしました。ですが学級閉鎖している時、感染していない利用者を受け入れ可にしているのは疑問に思います。学級閉鎖している対象の方は放デイの利用も出来ないと聞いていたので(私の勘違いならすみません) 体調不良のとき他の子供たちが活動中であって体調優先で送迎していただいた。また防災訓練は定期的に活動中に行っている認識です。	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訓練の実施: 定期的な避難訓練や、体調不良時の柔軟な送迎対応を実施しております。 <p>【改善の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訓練実施の可視化: 避難訓練の内容や様子を、hugの活動報告や掲示板などで保護者様にフィードバックし、「何が行われたか」を明確に伝えま 感染症ガイドラインの再周知: 学級閉鎖時の利用判断について、自治体の指針に基づいた明確なルールを再度明文化し、保護者様に配布説明します。誤解を招かないよう、一貫した対応を徹底します。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
ヒヤリハット事例の事業所内共有			
満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	<p>おやつの内容。食育の点からも、栄養面に配慮したおやつを希望します。</p> <p>(例) ヨーグルト、野菜ジュースなど</p> <p>学校以外の人達とのコミュニケーション学校以外の居場所があるのはすごく良かったと感じており、学校ではない実生活に活かせるような活動もあった</p> <p>り沢山の学べる機会を体験させてあげれた事</p> <p>「ドットジュニアに行きたい！お休みしたくない」と子供本人が日々言っており、居場所があることがとてもありがたい。</p> <p>本人が様々な体験ができ、楽しそうに教えてくれること。明日がドットジュニアさんの日だとわかると嬉しそうなこと。"</p> <p>放課後の活動が充実するようになった。よく話すようになった。何より子どもが楽しいと言っていることが、通所を始めて良かったと感じていることです。</p> <p>創作活動で、年度末に1年間の写真アルバム制作をして欲しい。子どもが自分で写真を選び、タイトルやコメントを添えて作り上げる自分だけのアルバム。</p> <p>1年間の活動の振り返りにもなりますので、ご検討いただければ幸いです。</p> <p>いつもありがとうございます。色んな活動をさせてもらえることで子供の気持ちも日々豊かになっていると思います。</p> <p>引き続きよろしくお願いします。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 居場所の提供: 「ドットジュニアに行きたい」というお子様の声を励みに、自己肯定感を高める活動を行っております。 <p>【改善の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育の検討: おやつの内容について、ご提案いただいたヨーグルトや野菜ジュースなど、栄養面や健康面に配慮したメニューの導入を検討し、食育の観点からも充実を図ります。 新プログラムの導入: ご要望いただいた「年度末のアルバム制作」は、お子様の振り返りや達成感に繋がる素晴らしいアイデアです。来年度の年間計画に盛り込み、「自分だけの成長記録」作りをプログラム化する方向で進めます。
	子どもが通所を楽しみにしているか		
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		